



令和2年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

令和元年11月8日

上場会社名 株式会社 御園座 上場取引所 名
 コード番号 9664 URL http://www.misonoza.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)宮崎敏明
 問合せ先責任者 (役職名)取締役総務経理部長 (氏名)増井敏樹 (TEL) (052)222-8202
 四半期報告書提出予定日 令和元年11月8日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和2年3月期第2四半期の業績(平成31年4月1日～令和元年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年3月期第2四半期	1,161	△61.5	△286	-	△294	-	△320	-
31年3月期第2四半期	3,013	-	369	-	360	-	294	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年3月期第2四半期	△64.36	-
31年3月期第2四半期	59.23	-

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2年3月期第2四半期	7,032	4,617	65.7
31年3月期	7,605	4,938	64.9

(参考) 自己資本 2年3月期第2四半期 4,617百万円 31年3月期 4,938百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
31年3月期	-	-	-	0.00	0.00
2年3月期	-	-	-	-	-
2年3月期(予想)	-	-	-	-	-

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 2. 令和2年3月期の配当予想につきましては、現在未定であります。

3. 令和2年3月期の業績予想(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,000	△40.6	△240	-	△260	-	△285	-	△57.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2年3月期2Q	4,984,500株	31年3月期	4,984,500株
② 期末自己株式数	2年3月期2Q	5,124株	31年3月期	5,074株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2年3月期2Q	4,979,390株	31年3月期2Q	4,979,517株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、高い水準で底堅く推移している企業収益を背景に雇用・所得環境の改善が続くなかで、個人消費も持ち直しており、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社におきましては、平成30年4月の新劇場開場から2年目となり、4月には「陽春花形歌舞伎」が行われました。また、5月には「ミュージカル 笑う男」、「雪まろげ」、「水森かおり特別公演」、「石川さゆりコンサート2019」、6月には「ミュージカル レ・ミゼラブル」、「ファンタスティックライブ2019」、7月には「前川清特別公演 杜このみ特別出演」、「夏休み!!吉本新喜劇&バラエティ公演」、8月には「音楽劇 トムとジェリー 夢よもう一度」、「ブロードウェイミュージカル ピーターパン」、「志村けん一座 第14回志村魂〜一姫二郎三かぼちゃ〜」、「ブラックorホワイト? あなたの上司、訴えます!」、9月には「坂東玉三郎 御園座特別舞踊公演」、「きん枝改メ 四代 桂小文枝 襲名披露公演」、「天童よしみコンサート2019」、「蘭RAN」、「九月新派公演」が行われました。

前年同期においては、平成30年4月の新劇場開場を受け、4月には、松本幸四郎改め二代目松本白鸚、市川染五郎改め十代目松本幸四郎の襲名披露となる柿落し公演「柿茸落四月大歌舞伎」、5月には「スーパー歌舞伎II ワンピース」、6月には「滝沢歌舞伎2018」と、ほぼ1ヶ月間連続で行う公演が3ヶ月連続で行われたことにより、前年同期の当社主催公演回数は213回でしたが、当第2四半期累計期間の当社主催公演回数は162回（前年同期比△23.9%）となりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は、11億6千1百万円（前年同期比△61.5%）となりました。

売上高の減少を反映し、利益面では、営業損失2億8千6百万円（前年同期は営業利益3億6千9百万円）、経常損失2億9千4百万円（前年同期は経常利益3億6千万円）、四半期純損失3億2千万円（前年同期は四半期純利益2億9千4百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は、10億1千4百万円となり、前事業年度末に比べ4億6千2百万円の減少となりました。この主な要因は、現金及び預金が3億7千万円、売掛金が1億4千5百万円減少したことによるものであります。固定資産の残高は、60億1千8百万円となり、前事業年度末に比べ1億9百万円の減少となりました。この主な要因は、建物及び構築物が6千万円、機械及び装置が3千1百万円減少したことによるものであります。この結果、総資産は、70億3千2百万円となり、前事業年度末に比べ5億7千2百万円の減少となりました。

(負債の部)

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は、5億7千9百万円となり、前事業年度末に比べ1億7千2百万円の減少となりました。この主な要因は、前受金が5千6百万円、買掛金が1千1百万円増加したものの、未払法人税等が9千2百万円、その他に含まれる未払消費税等が7千8百万円、未払金が6千6百万円減少したことによるものであります。固定負債の残高は、18億3千6百万円となり、前事業年度末に比べ7千9百万円の減少となりました。この主な要因は、繰延税金負債が2千4百万円増加したものの、長期借入金が1億円減少したことによるものであります。この結果、負債合計は、24億1千5百万円となり、前事業年度末に比べ2億5千1百万円の減少となりました。

(純資産の部)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は、46億1千7百万円となり、前事業年度末に比べ3億2千万円の減少となりました。この主な要因は、利益剰余金が3億2千万円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は本日業績予想を修正しております。詳細は本日公表しました「業績予想修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成31年3月31日)	当第2四半期会計期間 (令和元年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,205,846	835,713
売掛金	235,879	90,816
貯蔵品	2,327	2,969
その他	34,003	85,840
貸倒引当金	△889	△739
流動資産合計	1,477,168	1,014,601
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,818,681	2,757,958
機械及び装置(純額)	889,057	857,482
土地	2,124,656	2,124,656
その他	188,052	175,262
有形固定資産合計	6,020,447	5,915,360
無形固定資産		
投資その他の資産	50,502	46,578
投資その他の資産		
投資有価証券	38,291	38,055
その他	18,669	18,017
投資その他の資産合計	56,960	56,073
固定資産合計	6,127,910	6,018,012
資産合計	7,605,078	7,032,613

(単位：千円)

	前事業年度 (平成31年3月31日)	当第2四半期会計期間 (令和元年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	115,642	126,684
1年内返済予定の長期借入金	200,000	200,000
未払金	83,432	16,664
未払法人税等	104,212	11,393
前受金	142,654	199,167
賞与引当金	7,500	7,500
その他	98,001	17,689
流動負債合計	751,444	579,099
固定負債		
長期借入金	1,600,000	1,500,000
繰延税金負債	252,198	276,857
退職給付引当金	19,591	19,861
その他	43,833	39,642
固定負債合計	1,915,622	1,836,361
負債合計	2,667,066	2,415,461
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,271,937	2,271,937
資本剰余金	2,137,621	2,137,621
利益剰余金	560,704	240,255
自己株式	△39,476	△39,674
株主資本合計	4,930,787	4,610,140
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7,223	7,012
評価・換算差額等合計	7,223	7,012
純資産合計	4,938,011	4,617,152
負債純資産合計	7,605,078	7,032,613

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年9月30日)
売上高	3,013,962	1,161,881
売上原価	2,509,159	1,312,860
売上総利益又は売上総損失(△)	504,802	△150,978
販売費及び一般管理費	134,940	135,512
営業利益又は営業損失(△)	369,861	△286,491
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	1,094	1,227
保険返戻金	1,343	-
その他	399	1,082
営業外収益合計	2,838	2,310
営業外費用		
支払利息	11,495	10,292
その他	476	509
営業外費用合計	11,971	10,801
経常利益又は経常損失(△)	360,728	△294,982
特別損失		
投資有価証券評価損	636	-
特別損失合計	636	-
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	360,091	△294,982
法人税、住民税及び事業税	65,160	783
法人税等調整額	-	24,683
法人税等合計	65,160	25,466
四半期純利益又は四半期純損失(△)	294,930	△320,449

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	360,091	△294,982
減価償却費	124,437	125,186
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	-	△150
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△4,229	269
受取利息及び受取配当金	△1,095	△1,228
支払利息	11,495	10,292
投資有価証券評価損	636	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△423,400	145,063
たな卸資産の増減額 (△は増加)	332	△641
仕入債務の増減額 (△は減少)	130,367	11,041
未払又は未収消費税等の増減額	381,592	△108,764
前受金の増減額 (△は減少)	△58,648	56,513
その他	△118,965	△97,435
小計	402,615	△154,835
利息及び配当金の受取額	1,095	1,228
利息の支払額	△11,440	△10,411
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	425	△84,872
営業活動によるキャッシュ・フロー	392,695	△248,890
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△72,470	△15,210
無形固定資産の取得による支出	△14,760	△953
その他	3,482	△750
投資活動によるキャッシュ・フロー	△83,748	△16,913
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△100,000	△100,000
リース債務の返済による支出	△4,065	△4,131
その他	△299	△196
財務活動によるキャッシュ・フロー	△104,365	△104,328
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	204,582	△370,133
現金及び現金同等物の期首残高	630,338	1,205,846
現金及び現金同等物の四半期末残高	834,921	835,713

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。